

# 県労連 あomorい

2013年3月5日 第270号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)  
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234  
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円  
1992年10月30日 第三種郵便物認可  
本紙の購読料は組合費に含まれています。



猛吹雪の中をデモ行進。市民にアピール

## 県春闘 共闘会議

# 13春闘勝利決起集会

## 講演、行動提起、デモ行進

「デフレ不況の克服は、賃上げと安定雇用こそ」の  
声高く、13春闘青森県共闘会議は2月23日(土)午後、  
県労働福祉会館を会場に「春闘勝利決起集会」を開催。  
数日来的大雪と吹雪にもかかわらず約90名が参加。凍て  
つく寒さと猛吹雪の中、デモ行進も実施しました。

奥村榮県共闘会議議長  
(県労連議長)が主催者挨拶。低賃金と雇用悪化が激  
化、非正規労働者の急増が  
貧困と格差に拍車をかけて  
いることや、国民全体が疲  
弊した原因と責任所在に言  
及。アメリカ追随と大企業  
優遇政治を正す闘いの重要  
性を強調しました。  
続いて、渡邊正道全労連

事務局長が1時間にわ  
たって講演。「憲法がいきる  
安全・安心社会実現めざす」  
と題し、パワーポイントを  
使い説明。13春闘の焦点と  
して「大企業の横暴に総反  
撃」「改憲と新自由主義・構  
造改革路線の安倍内閣の危  
険な姿勢を追究」「企業内労  
働組合主義の弱点克服」の  
3点を指摘。労働者・国民の

の一人、鎌田慧氏のミニ講  
演、デモ行進、県庁包囲行  
動を予定。集会に先立ち、  
午前10時から繁華街で街  
宣・署名活動も行います。  
ポスター、チラシで広く宣  
伝。記者会見を行うなど、  
昨年を上回る2千名を目標

生活実態を明らかにして、  
仕事と地域経済をキーワー  
ドに地域で市民運動的に協  
同行動を重視する春闘にし  
ようと呼びかけました。  
田中清治事務局長が行  
動を提起。賃上げ・最賃引  
き上げ「公務員賃金・退職  
金削減阻止」「消費税増税阻  
止・TPP参加反対」「生活  
保護基準引下げ・社会保障  
改悪反対」なくせ原発・核  
燃「改憲・オスプレイ配備  
反対、安保廃棄を重点課題  
にあげました。県労連とし  
て、要請文を持ち県内の主  
な5つの経営者団体と懇談  
を実施したことを紹介。

東青労連は2月15日、県  
教育会館会議室で参加者は  
15名。講師は今県労連副議  
長が努めました。2007  
年に一度は政権を投げ出し

## さようなら原発・核燃

### 「3・11」青森集会を成功させよう!

会場=駅前広場 日時=3月10日12時30分~

福島原発事故から満2  
年。全国一斉行動に合わせ  
て、県内53団体と個人でつ  
くる「なくせ原発・核燃  
あomorいネットワーク」主  
催の県集会が目前です。日  
時=3月10日(日)午後0  
時30分から、会場=青森駅  
前広場。集会  
名は「さよう  
なら原発・核  
燃『3・11』  
青森集会」。  
当日は「さ  
ようなら原発  
1000万人  
アクション」  
の呼びかけ人



昨年の集会デモ行進

に全力で奮闘中です。(県  
労連200名)  
日本の原子力施設が集中  
立地している青森県。県民  
多数の参加で大成功を目指  
しましょう!



「なくせ!原発・核燃  
三八連絡会」主催の集会和  
行動が同日の午前10時から  
実施されます。被災地復興  
原発ゼロ、核燃中止を求め  
る報告と発言。会場は「は  
っち」5階。集会後、パレ  
ードを予定しています。

## 地域労連が春闘学習会

~東青、三八、下北~



三八地労連の学習会

県労連  
から提起  
を受け、  
2月25日  
現在で  
「春闘学  
習会」を3地域労連が開催  
しました。  
東青労連は2月15日、県  
教育会館会議室で参加者は  
15名。講師は今県労連副議  
長が努めました。2007  
年に一度は政権を投げ出し

た安倍内閣の復活は、帝国  
憲法への回帰を標榜する極  
めて危険な重大局面を迎え  
ていること。帰趨は、今年  
7月の参院選の結果にかか  
っていることを強調。  
下北地区労連は19日に下  
北教育会館を会場に、猛吹  
雪の中、5名が参加。県労  
連田中事務局長の話に耳  
を傾け、情勢を学習。3月  
10日の「さようなら原発・  
核燃青森集会」成功のため  
にも全力を尽くそうと思意  
統一しました。  
三八地労連は20日、三八  
教育会館に10名が参加。県  
労連田中事務局長が問題提  
起。春闘情勢と課題を深め  
ました。年金受給年齢の延  
長問題、公務員賃金・退職  
手当削減問題に怒りを共有  
しました。

# 県労連 経営者5団体と懇談 賃上げ、雇用などを要請

「ベースアップ論外」を主張する大企業。これに対し「デフレ不況脱却には賃上げや雇用環境改善が必要」の世論が高まりつつあります。県労連は、13春闘の取り組みの一環として2月15日と19日に県内の主な経営者団体と懇談を実施しました。

懇談相手は県経営者協会、県商工会議所連合会、県中小企業家同友会、県中小企業団体中央会の5団体。デフレ不況克服のためには大企業の内留保を取り崩して賃上げ、雇用、下請け単価への反映



県経営者協会との懇談

また、これまでの非正規一辺倒から「正社員を採用して育てていく、教育で社員のレベルアップを図ることが必要」「地域の企業育成に力を注いでいく」という展望を示しました。最後に、今後も懇談を継続していくことを確認しました。

# 憲法講演会に350名

## 「9条守る」一点で 国民総ぐるみ運動を

題し、憲法問題講演会を開催しました。講師は一橋大名誉教授の渡辺治氏。参加者は350人でした。

の会(代表世話 人・金澤 茂)は2月3日、弘前文化センターを会場に「安倍政権下で政治と憲法はどうなるか」と



一橋大名誉教授の渡辺治氏

で、大企業とアメリカ優先の更なる新自由主義・構造改革路線を推進のため、国民との矛盾は一層強まることとは間違いなく、夏の参院選でも改憲派が多数になれば改憲の動きは最大の危機に直面。これを阻むには9条を守る一点で、保守層をも巻き込んだ国民総ぐるみの運動の必要性を訴えました。

# TPP 交渉参加反対 運動の共同を要請

加反対運動や、県内自治体

に県実行委員会が議会請願している「TPP参加反対の意見書を求める請願」を参考に3団体で取り組んで頂く協力協力の要請。

3団体とも当初から、TPP交渉参加には反対の意向を示しており、それぞれ独自の学習会や集会、請願を実施しています。協力協同の取り組みには、具体的な合意は得られませんが、今後の運動の足掛かりを築きました。

# 憲法ネット

## 改憲の動きに反撃 街宣、署名集め開始

県労連など26団体で構成する「戦争いやだ 憲法を守れ! 県民の会」(略称・憲法ネットあおもり)は、2月6日を皮切りに、当面7月まで月1回の青森市内街宣を開始。広く署名活動にも取り組んでいます。

これは、先の衆院選に続いて、参院選でも改憲勢力が多数を握り、日本を「戦争をする」国へと変質させようという危険な動きに反撃する行動。夏の参院選で



青森市内繁華街で署名活動

は改憲問題が重大な争点になることは必至です。

憲法ネットでは、3月20日午後2時から県教育会館会議室で年次総会と学習会を計画。「9条守れ」の運動を急速に強化して行くことと意思統一。県内各地域での早急な積極的行動を呼びかけています。



**雪のため!**  
仕事がかどりません。(坂本豊・東青農民組合)  
**1日中雪片ついで**  
大変。(市ノ渡明美・サンヨー支部)  
**今年もヨロシク。**  
(柳谷道弘・県国公)

**雪片ついで**  
身体が痛い。(建交労・中村龍平)  
**休日は雪片ついで**  
です。(檜山康博・学習協)  
**今年も出来るだけ**  
活動のお手伝いを。(村田 稔・年金者組合)  
**雪片ついでをダイエツト**  
だと思ひ励みます。(三上ひろみ・ひだまりユニオン)  
**「東京家族」を**  
夫と観ました。(松島恵美子・高教組)  
**冬の訪問介護**  
移動時間を考慮して貰えず空しい。(匿名・ひだまりユニオン)  
**釜臥山スキー場。**

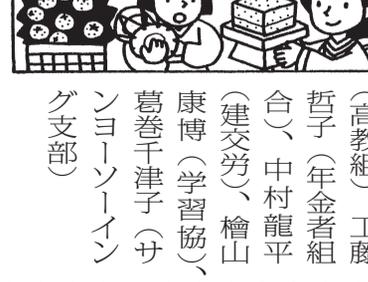
**朝日新聞も**  
NHKニュースも観るのを辞めた。(長内一・建交労)  
**間違い探しに**  
初めて挑戦しました。(岡本 猛・年金者組合)  
**元旦、雪山道を**  
10kmジョギング。悪政に立ち向かう決意新た。(金蒔 勉・年金者組合)

**第268回 まちがいさがし**

●ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて送って下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などをぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

●締切 4月15日  
●発表 5月号  
●宛先 〒03010852 青森市大野字若宮 165-119。FAX、メールは欄外に表記。第268回まちがいさがし係まで。第266回答えと当選者

《答え》  
①着物  
②髪飾り  
③花  
④皿  
⑤セーター  
⑥左の座布団  
⑦ネコ  
《当選者》  
26通の応募で22通正解でした。当選者は次の方々です。松島恵美子(高教組)、工藤哲子(年金者組合)、中村龍平(建交労)、檜山康博(学習協)、葛巻千津子(サンヨーソーイング支部)



「日本育英会奨学金」のお受け取りとご返還はろうきんで